令和８年度 第２回 学校運営協議会 議事録

１ 日時

令和８年 11 月７日（土）10 時 00 分～12 時 00 分

２ 会場

静岡県立浜松湖東高等学校　小会議室

３ 出席者

学校運営協議会委員

会　長　小泉 正嗣 様
副会長　岩崎 敏之 様
委　員　神間 智博 様、松澤 隆通 様
学校
校長、副校長、教頭、事務長

４ 協議事項

(1) 学校の現状と学校の魅力づくりについて

校長から、生徒は落ち着いた学校生活を送っており、生徒会活動や地域企業との協働など、生徒が主体的に取り組む活動が充実していることが報告された。また、こうした活動や学校全体の雰囲気について、外部からも好意的な評価が寄せられていることが紹介された。

進路状況については、四年制大学への進学を中心に、就職や公務員など多様な進路を選択していることが報告された。さらに、学校の魅力向上に向けて、地域との連携、情報発信の充実、生徒の学習機会の拡充などに取り組んでいることが説明された。

(2) 教育活動・授業改善について

学校からの説明

学校から、生徒１人１台端末の環境を生かした授業改善に取り組み、ICT の効果的な活用を図るための教職員研修を実施していることが報告された。また、各学年で探究的な学びを推進しており、12 月及び１月に予定されている発表会について、委員に参観の案内があった。

このほか、有志生徒による自主的な活動、校外研修、中学校との交流活動及び教職員研修の取組について説明があった。

委員からの意見

・知識を一方的に伝えるだけでなく、生徒自身が考え、理解を深めることのできる授業づくりが重要である。
・ICT についても、単に機器を使用することを目的とせず、生徒の主体的な思考や学びを促す手段として活用していくことが望ましい。

(3) 学校行事・部活動・生徒の活動について

学校から、感染症の発生状況に留意しながら、学校行事や教育活動をおおむね計画どおり実施していることが報告された。また、修学旅行や各種大会への参加状況、部活動の取組について説明があり、部活動は任意加入であるものの、多くの生徒が参加していることが紹介された。

さらに、学校公式 Instagram を活用した情報発信、校内購買の終了に伴う生徒会主体の販売事業者との調整、地域企業と連携した卒業式に向けた企画などが報告された。併せて、教職員の安全衛生及び健康づくりに関する取組についても説明があった。

(4) 授業参観について

委員は、配付された授業予定表に基づいて授業を参観した。その後、協議会を再開し、授業参観を踏まえた感想や学校の教育活動に関する意見交換を行った。

(5) 少子化への対応と学校の特色化について

少子化に伴い中学生の人数が減少する中、生徒や保護者から選ばれる学校であり続けるために、本校の特色や今後の学校づくりの方向性について意見交換を行った。

委員からの意見

- ・現在の教育活動の成果や魅力を積極的に発信するとともに、学校として目指す方向性や特色をより明確にする必要がある。オモロイ学校のキャッチフレーズと学校のポリシーとの関係性を明確することを望む。
- ・学校の特色を打ち出す方策として、特色あるコースや専門的な学びを取り入れることも考えられる。
- ・一方で、進路を早い段階で限定することなく、普通科として幅広い進路選択の可能性を保障することも重要である。
- ・生徒が自らの興味や適性に気付き、日々の学習と将来の仕事や生活とのつながりを考えられるよう、進路意識を育む機会を充実させることが望ましい。

意見交換の概要

学校の特色を明確にするための教育課程の工夫と、生徒の多様な進路選択を支える普通科の役割について、それぞれの観点から意見が交わされた。

(6) 地域との連携・学校の情報発信について

委員からの意見

- ・学校の教育活動や生徒の取組を地域や関係者に分かりやすく発信し、連携を深めることによって、学校の魅力をさらに高めていくことが重要である。

学校からの説明

学校から、委員から寄せられた意見を今後の学校運営や教育活動の改善に生かしていきたいとの考えが示された。

５ 次回予定

第３回学校運営協議会は、令和９年２月 12 日（金）に開催し、学校関係者評価を行う予定であることが案内された。

第４回学校運営協議会は、令和９年３月８日（月）に開催する予定であることが案内された。